

グローバル拠点都市選定について

スタートアップ・エコシステム拠点都市形成にかかる取組み①

概要

内閣府は、シリコンバレーやニューヨークのように、先端技術を活用し、新ビジネスを創出するスタートアップ企業が成長する拠点となる都市の形成に取り組んでいる。

大阪は、京都、ひょうご神戸のコンソーシアムと連携して申請し、グローバル拠点都市に選定された。

・グローバル拠点都市

東京・横浜等、名古屋・浜松、京阪神、福岡の 4カ所

・推進拠点都市

札幌、仙台、広島、北九州の 4カ所

大阪市の取組み

令和元年

➢ 7/19 大阪スタートアップ・エコシステム推進会議 設置

【構成員】

大阪産業局（事務局）、大阪府、大阪市、堺市、関西経済連合会、
大阪商工会議所、関西経済同友会、近畿経済産業局

➢ 9/5 市長が応募の意向を表明

➢ 10/31 大阪スタートアップ・エコシステムコンソーシアム 設置

【構成員】

大阪産業局、大阪府、大阪市、堺市、関西経済連合会、
大阪商工会議所、関西経済同友会、大阪大学、大阪府立大学、
大阪市立大学、関西大学、近畿大学、池田泉州銀行、みずほ銀行、
三井住友銀行、三菱UFJ銀行、りそなグループ、INPIT、NEDO、
JETRO、S-CUBE、オリックス不動産、ナレッジキャピタル、
阪急阪神不動産、キーパーソン 6 名、近畿経済産業局（オブザーバー）



令和2年

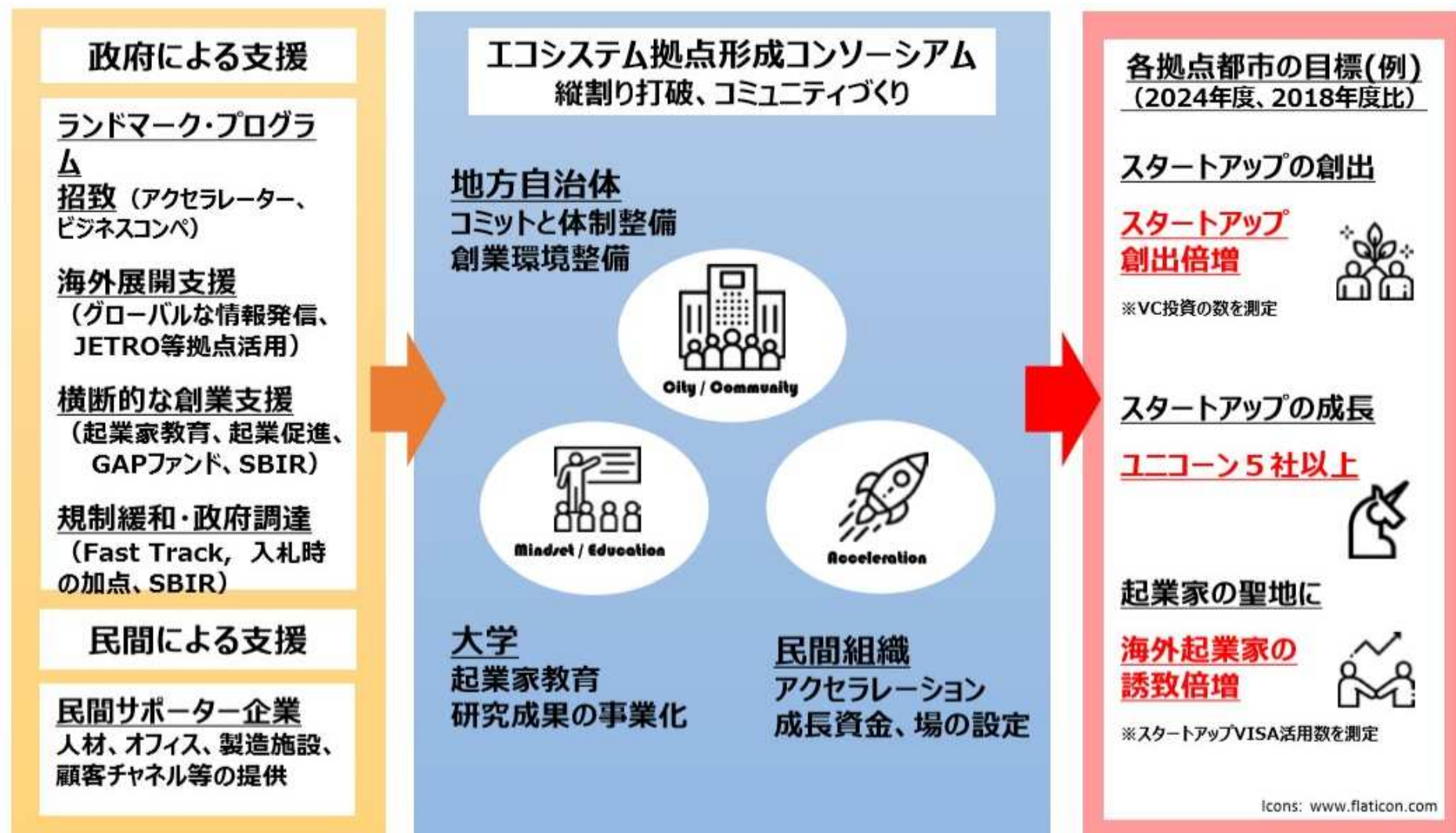
➢ 2/18 京阪神が連携して内閣府に申請書を提出

➢ 7/14 京阪神がグローバル拠点都市に選定される

スタートアップ・エコシステム拠点都市形成にかかる取組み②

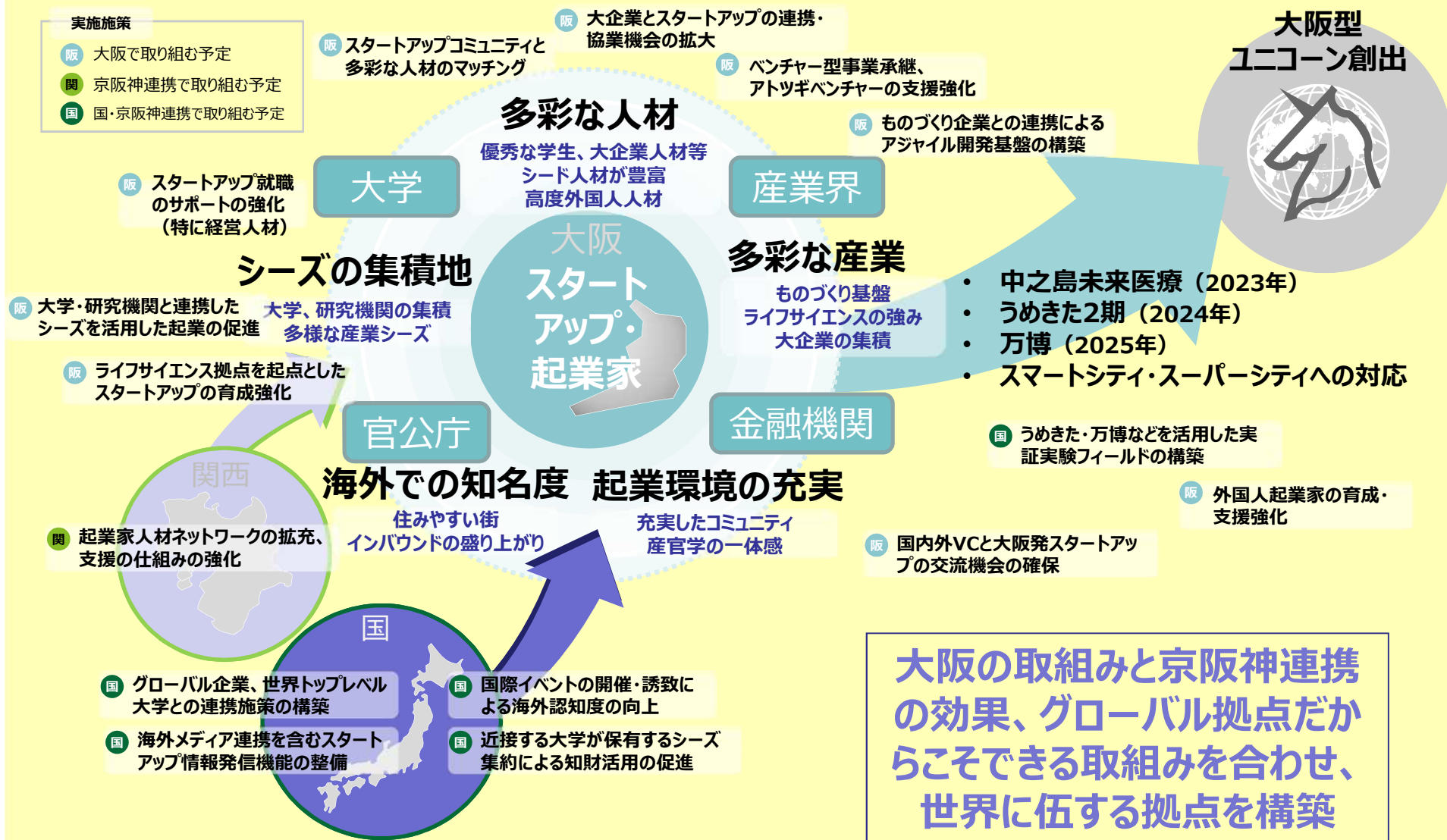
内閣府の「スタートアップ・エコシステム
拠点形成戦略」より

□ 政府、政府関係機関、民間サポーターによる集中支援。



スタートアップ・エコシステム拠点都市形成にかかる取組み③

エコシステム形成のイメージ図



スタートアップ・エコシステム拠点都市形成にかかる取組み④

- どの地域の支援策にも参加できる仕組み（相互乗入）、支援策の質的充実、成功事例の共有化によるエコシステムの強化
- 大阪・京都・神戸はバイオ・ヘルスケア・ライフサイエンスが得意。この分野の大学シーズを活かし成功事例の創出をめざす。

今年度の国際イノベーション会議 Hack Osaka で取組みをスタート

Hack Osaka

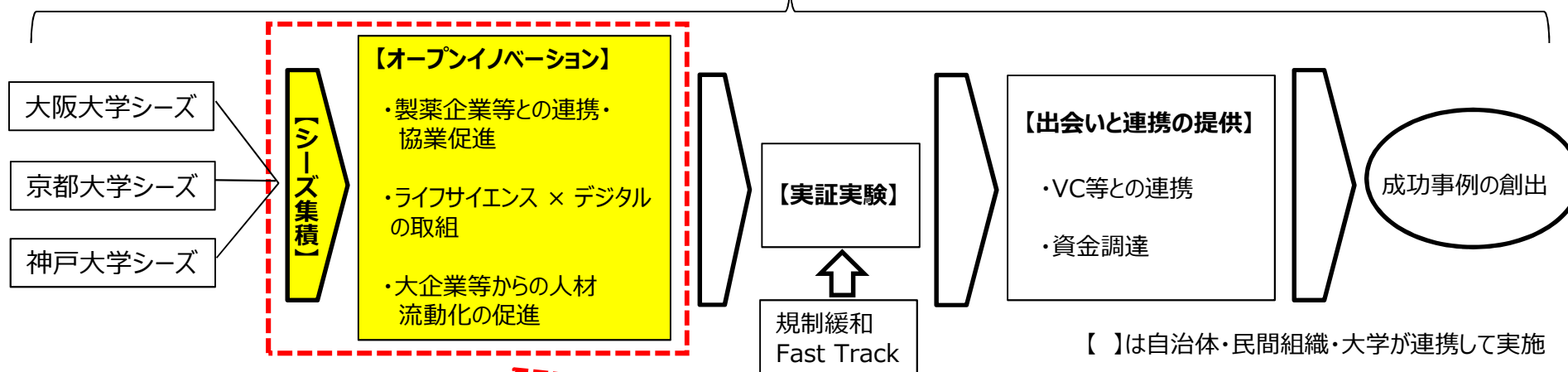
- 全編英語で世界のイノベーションの潮流・トレンドや大阪発のイノベーションの成果を世界に発信。
- 世界で活躍する起業家によるスピーチやパネルディスカッション、投資家面談、商談会、世界各国の起業家が参加するピッチコンテスト Hack Award等を実施。



- 大阪市と（公財）都市活力研究所が連携して毎年開催。
- 今年度は、ジェトロ大阪も主催者に加わり、京阪神の産学官が初の相互乗入で開催。成功事例の創出にチャレンジ。

（イメージ）

京阪神の最先端技術や人材を活かした製品・サービスがスピーディにローンチできるエコシステムづくりを進める



今年度のHack Osakaで実施

- 塩野義製薬、ダイキン工業、SCREEN、島津製作所、シスメックスなど関西の大企業の参画を想定
- 京阪神の得意分野から成功事例を生み出し、エコシステムの強化を図る